

凡中男一人輸作物略 中海藻十二斤

伊勢國略 中男作物略 中海藻 志摩國略 中調略 中海藻

〔延喜式大膳〕試海印三昧寺年分度者料略 荒布一束使料

安祥寺試年分度者略 使料略 荒布一束

仁王經齋會供養料 僧一口別略 中海藻二兩好物料 右一日供料依前件

〔延喜式三十九〕供御月料

滑海藻十三斤八兩略 右月料小月減卅分之二

〔土左日記〕元日承平五 年正月 なほおなじとまりなり略 芋もあらめもはがだめもなしかうやうの

物なきくになりもとめもおかず

〔平家物語〕有王しまくだりの事

磯のかたよりかげろうなんのごとくにやせおとろへたるものよろほひ出来たり中 加た

手にはあらめもちかた手にはほをもろうてもちあゆむやうにはしけれどもはかも行すよ

ろよろとしてぞ出来る

〔毛吹草〕伊勢 荒和布 紀伊 三穗荒和布

〔倭名類聚抄七〕滑海藻末 本朝令云中 末滑海藻加 者知 女俗 用搗 末義 也

〔本朝食鑑三〕荒布略

搗布似荒布而細狭有細皺文粗硬味不佳不足爲土饌耳

和布略

佐加良布傳 稱本出於遠州相良之海濱故以其地名而冠之狀似和布而粗硬

〔大和本草八〕海草カチメ 又サガラメト云海帶ニ似テ細ク狭シ皺アリホシタルヲキザミテ羹ニ

搗布  
相良布